

整 理 番 号 2022M-085
補 助 事 業 名 2022年度 国際シンポジウム・ダイアログ推進補助事業
補助事業者名 一般財団法人 国際経済交流財団

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

表面的には収束の一面を見せたコロナパンデミックの経済的余波は大きく、サプライチェーンの再構築が急務となる中、ロシアのウクライナ侵攻により、新たにエネルギーや食糧等の供給システムに危機が生じた。米中のデカップリングに次ぐ世界全体への新たな挑戦に未だ解決策は見つかっておらず、経済の問題は安全保障の問題と切り離せなくなっている。超大国による国際貿易システムに対する遵守が損なわれ、エネルギー問題が環境へ直接影響を及ぼしかねない中、日米・日欧両地域の有識者による議論は互いの認識を改め、産官学界の理解を増進させ、今後の経営・学術研究・政策判断に資する絶好の機会となる。

(2) 実施内容

① 日米フォーラム

2023年1月に日本側3名の講師、若手研究者及び財団職員が渡米し、ワシントンD.C.においてフォーラムを開催。2023年1月11日に、米国で定評のあるシンクタンク、戦略国際問題研究所との共催で、混乱した秩序：日米協力への影響について、公開ラウンドテーブル・ディスカッション形式で開催した。

日本側からは3名の講師および弊財団会長、専務理事が参加、米国からは9名が参加した。

<https://www.jef.or.jp/forum/usforum/>

2022年度日米フォーラム 2023年1月11日(金) (於：ワシントン D.C.)



開会の辞 John Hamre 氏



開会の辞 豊田 正和



Panel 1 モデレーター

Erin Murphy 氏



Panel 1 スピーカー

Gerard DiPippo 氏



Panel 1 スピーカー

小原 凡司 氏



Panel 1 スピーカー

Kori Schake 氏



Panel 2 モデレーター

原岡 直幸



Panel 2 スピーカー

森田 清隆 氏



Panel 2 スピーカー

Mary Lovely 氏



Panel 2 スピーカー

Matthew Goodman 氏



Panel 3 モデレーター

Jane Nakano 氏



Panel 3 スピーカー

Ben Cahill 氏



Panel 3 スピーカー

Jennifer Gordon 氏



Panel 3 スピーカー

土井 菜保子 氏



若手研究者
川井 大介 氏



会場の様子



会場の様子



会場の様子



会場の様子

② 日欧フォーラム

2022年10月に日本側3名の講師、若手研究者及び財団職員が渡欧し、またベルギーから日本側講師1名がフランス・パリにおいてフォーラムを開催。2022年10月21日に、フランスで定評のあるシンクタンク、アスペンフランス研究所との共催で、世界的な変化における日本とヨーロッパの永続的なパートナーシップについて、非公開ラウンドテーブル・ディスカッション形式で開催した。

日本側からは4名の講師および弊財団会長、専務理事が参加、フランスからは10名が参加した。

<https://www.jef.or.jp/forum/euforum/>

2022 年度日欧フォーラム 2022 年 10 月 21 日（金）（於：パリ）



開会の辞 Jean-Luc Allavena 氏



開会の辞 豊田 正和



基調講演 伊原 純一 大使



Session1 モデレーター
原岡 直幸



Session1 スピーカー
益尾 知佐子 氏



Session1 スピーカー
Muriel Penicaud 氏



Session1 スピーカー
Louis Schweitzer 氏



Session2&3 モデレーター
Philippe Manière 氏



Session2 スピーカー
鈴木 英夫 氏



Session2 スピーカー
Cécile Cabanis 氏



Session2 スピーカー
Philippe Boisseau 氏



Session3 スピーカー
渡邊 真理子 氏



Session3 スピーカー
平野 泰男 氏



Session3 スピーカー
Ludovic Subran 氏



若手研究者
三代川 夏子 氏



会場の様子



2 予想される事業実施効果

- ・フォーラム開催地域の有識者の層が厚くなって来ており、議論の内容をまとめた提言が各地の政策立案者にも伝わるような流れを構築する。
- ・時差がある海外での開催であり、日本の聴衆が同時視聴することは難しかったが、新規に動画配信による情報提供体制を構築した。報告書による文字情報に加え、JEF及び共催機関のウェブページから、フォーラムの録画を見ることができる（2022年度は、日米フォーラムで実現）。掲載された報告書や動画へのリーチ数増加を図り、地域や産業を問わず、より広範な層へのアクセスを促すことでより多くのグローバル企業や政府関係者の判断材料を増やせれば、より良い政治経済インフラの整備に寄与することが見込める。
- ・産学官の関係ウェブページ等へ広報を強化し、JEFのE-ジャーナルと併せフォーラム動画や報告書のリンクの掲載ができれば、これまで限定的だった読者以外に普及させることがで

きる。

・フォーラムに日本の若手研究者の参画を促し、各国有識者との人脈構築や意見聴取をしてもらえれば、より広い視野を持てるようになり、将来を担う人材を育てることができる。

3 補助事業に係る成果物

(1) 補助事業により作成したもの

① 2022年度日米フォーラム報告書

https://www.jef.or.jp/2022us_jp_report.pdf

2022 年度日米フォーラム Japan-US Forum 2022 Disrupted Global Order: Implications for U. S. -Japan Cooperation 報 告 書 2023 年 1 月 11 日(水) 一般財団法人 国際経済交流財団	目 次 1. 開催趣旨.....1 2. 開催概要..... 3. 詳細日程.....4 4. 出席者略歴.....6 5. 議事要旨 (1) 日本語.....11 (2) 英語.....24 6. 発表資料.....41 7. 若手研究員の参加報告 (1) 小論文.....56 (2) 筆者略歴.....61 8. 活動と成果.....62 9. アンケート集計報告.....67 10. 共催団体紹介.....70 11. 事務局.....71
---	--

② 2022年度日欧フォーラム報告書

https://www.jef.or.jp/2022eu_jp_report.pdf

2022 年度日欧フォーラム
Japan-Europe Forum 2022
The World Outlook in the Era of Uncertainties:
How Europe and Japan can cooperate in our economy
and business by tackling geopolitical risks?

報 告 書

2022 年 10 月 21 日 (金)

一般財団法人 国際経済交流財団



競輪の補助事業 この報告書は競輪の補助により作成しました
<https://jka-cycle.jp>

目 次

1. 開催趣旨	1
2. 開催概要	2
3. 詳細日程	4
4. 出席者略歴	7
5. 議事要旨	
(1) 日本語	19
(2) 英語	28
6. 発表資料	37
7. 若手研究員の参加報告	
(1) 小論文	58
(2) 筆者略歴	64
8. 活動と成果	65
9. アンケート集計報告	70
10. 共催団体紹介	73
11. 事務局	74

4 事業内容についての問い合わせ先

団 体 名： 一般財団法人国際経済交流財団（コクサイケイザイコウリュウザイダン）
住 所： 〒141-0061 東京都中央区銀座 3 丁目 7-3 銀座オーミビル 5 階
代 表 者： 会長 豊田 正和（トヨタ マサカズ）
担当部署： 業務部長（ギョウムブチャウ）
担当者名： 石井 淳子（イシイ ジュンコ）
電話番号： 03-6263-2517
F A X： 03-6263-2513
E-mail： gyoumu@jef.or.jp
U R L： <https://www.jef.or.jp>